生誕800年

鎌倉無住(むじゅう)がみた

― 仏法と世俗をつなぐ遁世僧のまなざし ―

米沢善本
『沙石集』
（市立米沢図書館所蔵）
館外初出陳

2026 12.12 sat ▶ 2027 2.27 sat

鎌倉歴史文化交流館
Kamakura Museum of History and Culture

◎主催／鎌倉歴史文化交流館（鎌倉市教育委員会）◎会場／鎌倉歴史文化交流館:別館 ◎開館時間／10:00～16:00（入館は15:30まで）◎休館日／日曜・祝日・休日・年末年始
◎観覧料／〔一般〕400［300］円〔小・中学生〕150［100］円※ ◎住所／〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1 ◎アクセス／JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分
◎TEL／0467-73-8501 ◎FAX／0467-73-8545 ◎E-mail／rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp

※〔 〕内は20名以上団体料金 ＊本料金で本館平常展示もご覧いただけます。＊障がい者手帳の交付を受けた方と付添1名、鎌倉市に通学している小学生から大学院生及び市内在住の方は観覧料が無料となりますので、受付に身分証・手帳・学生証・カード等を提示してください。＊一般用の駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。＊障がい者等用駐車場をご利用の方は事前にご連絡ください。

・生誕800年・

無住がみた鎌倉

― 仏法と世俗をつなぐ遁世僧のまなざし ―

本年二〇二六年は、八宗兼学の僧として知られる無住道暁（一二二六～一三一二）の生誕八〇〇年にあたります。無住は没落武士の家（梶原氏か）の出身で、苦難の幼少期を過ごしました。関東各地を転々としたのちに出家・遁世し、鎌倉や京都、奈良の諸寺で禅や律、顕密諸宗を広く学び、一宗一派に偏らない思想と学識を培います。三七歳で尾張国（愛知県）長母寺の住職となると、その後の半世紀を同地で過ごしました。

生来の話し好きであった無住は、寺院経営のかたわら、説話を通して、人々を正しい仏法理解へと導くために精力的な執筆活動を行います。こうして編まれたのが、仏教説話集『沙石集』（一二八三年成立）や『雑談集』（一三〇五年成立）です。これらの著作には、無住の優れた観察眼が遺憾なく発揮され、武士や僧侶、庶民の暮らしぶりがわかる話や笑い話、動物の説話など、多彩なエピソードがわかりやすい文体で描き出されています。

本展では、館外初出陳となる米沢善本『沙石集』（室町～江戸時代の写本）などの無住の著作と、鎌倉市内の出土品をあわせて展観します。鎌倉時代、各宗派の祖師たちがそれぞれの教えを説くなか、特定の宗派に偏ることなく、庶民に語りかける姿勢を貫いた無住。そのまなざしを通して、中世を生きた人々の日々の営みをひも解きます。

*出家・遁世：本来は同義。無住の場合、顕密僧となることを出家、顕密僧を辞めることを遁世と表現する。

生来の話好き！ 人々に正しい仏法を説いた無住和尚坐像（複製）



（画像は原品、名古屋市博物館提供）

（名古屋市博物館所蔵、原品は長母寺所蔵）

長さ1mの壁板に書かれていたのは？



（北条時房・顕時邸跡出土）
［表は12・12～1・23 裏は1・25～2・27に展示］

画像は赤外線撮影



墨書板の出土状況

念持仏への祈り

鎌倉市指定文化財（北条時房・顕時邸跡出土）



不動明王立像

異形のものたちへのまなざし

（若宮大路周辺遺跡群出土）



形代（舟形・魚形・琵琶形）

楽器が描かれた不思議な鏡

鎌倉市指定文化財（大倉幕府跡出土）



雅楽器蝶鳥鏡

一人前の武士のあかし！

（今小路西遺跡出土）



折烏帽子

ようこそ！説話集の世界へ

米沢市指定文化財（市立米沢図書館所蔵）



沙石集（米沢善本）

館外初出陳

鶴岡若宮に入った強盗の話、説法の上手い寿福寺僧の話、鎌倉で買った馬の話、無実の人を斬首した武士の話など、盛りだくさん！



学芸員の展示解説 毎週木曜日10時30分～

鎌倉歴史文化交流館

会　場／鎌倉歴史文化交流館（別館 考古展示室）
休　館　日／日曜・祝日・休日・年末年始
住　所／〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1
アクセス／JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分
TEL／0467-73-8501
FAX／0467-73-8545
Eメール／rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp